（様式第１－５号）

　市町村名：　泉佐野市

⑨その他の創意工夫による取組み

|  |  |
| --- | --- |
| 区分及び事業名  ※１から４のいずれか該当するもの一つに○を付し、（　　　）に事業名を記入してください。  ※１から４の複数の区分に該当するものについては、それぞれ用紙を分けて記入してください。 | ①　人権相談分野（事業名：人権侵害ケースワーク事業）  ２　地域就労支援分野（事業名：　　　　　　　）  ３　進路選択支援分野（事業名：　　　　　　　）  ４　生活上のさまざまな課題等の発見又は対応分野  （事業名：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 取組内容  ※府ホームページへは当様式に記載されている内容を原則そのまま掲載いたします。また、記載にあたりましては現状、現状における課題及び当該課題解決へ向けた取組み内容をできるだけ詳細に記入してください。  【新規・継続の別】　※該当する方に○を付してください。  　 １．新規  　２．継続 【交付対象となった年度：平成２７年度】  【 現 状 】  　　配偶者・パートナー等から暴力を受けた被害者（世帯）に対して、大阪府女性相談センター等と連携を行い、一時保護所への避難などを実施し対応した。  【現状における課題】  　　同伴児を含めDV被害者の中には、避難に加えて、特定疾患の症状や障害など、対処・配慮が必要な課題を有する事例がある。そういった場合に対応に苦慮することがある。（特定の病院への通院、主治医と連携、服薬管理など）  【取組み内容】 ※継続実施分について、取組み内容を拡充する場合は、その内容を追記してください。  　　平成25年からは民間シェルターとも一時保護の委託契約を交わしている。それにより、避難者（世帯〕の安全確保はもちろんのこと、個々の課題に応じた細やかな支援が比較的スピーディーに提供できている。また、その後の施設からの退所（自立）への移行もスムーズに行えている。 | |